



東京2020聖火リレー × 教育プログラム

聖火や聖火リレーについて学んでみよう！

取組内容レポート

Vol.3 大阪府千早赤阪村立赤阪小学校



学校区分

小学校

参加学年・参加人数

5.6年・38名

教科名

体育

概要

運動会の団体演技プログラムで、組体操を実施した。その初めの全体での演技で、聖火ランナーが入場門より走ってきて、聖火台に火をつけるというシーンを入れた。聖火台は、残りの児童全員で形作り、聖火が灯ると赤い布で火が燃える様子を表した。

また、その他にもオリンピック旗をイメージした演技も途中で取り入れた。そのような内容を組体操に入れるにあたり、オリンピックについてや聖火についての学習も行った。

成果（児童・生徒の感想等）

子どもたちは、組体操を一致団結して取り組むとともに、聖火やオリンピック旗を取り入れて学習したことで、スポーツの持つ力が大きなものであると知ることができた。

また、スポーツは勝利至上主義に走るものではなく、平和の祭典として参加者への敬意を表することが大切であるとの意識を持たせることで、勝者だけではなく、頑張ったものすべてへ拍手をする姿勢が見られた。

写真等



組体操の初めに、聖火を持った児童が入場門より走ってきました。中央に形作った聖火台に点火すると、中心に立つ児童が赤い布で灯る聖火を表現しました。



オリンピック開会式の選手入場を表現しました。列を整えて行進した後、集団行動の交差表現で、列が交差する時に旗をあげて歩きました。



オリンピック旗をイメージした表現を取り入れました。5色のグループに分かれて、それぞれ円になり、自分たちで創作したダンス表現を行いました。